

附中×GIGA 共につくる仮想未来

ChromeBook使用について
生徒説明資料 2021. 5. 12

Chromebook活用の心がまえ

キーワード

私たちの未来は、情報化社会ではありません。情報社会です。

(未来を豊かに生きるためのスキル／使って何をするかが大事)

ならぬことはならぬのです。良心で判断するとは？正しく使うとは？

(×できる、できない〇する、しない) (CBは学習するための道具)

(マナーが成立しないからルールを作るしかない。)

使用上の注意 (原則)

学校内においては、原則先生の管理下においてCBの使用をする

あたりまえの話ですが...。
エチケットとマナーを意識し、正しく利用しましょう。

トラブルが発生する／悲しい思いをする人がでる

原因 ルールの抜け道をねらう操作 / 優しくない言動 / 自己中心的言動

皆を守るために使用を規制するルールをつくることとなります。

事例 (一つ一つを挙げるときりがなく、そんなレベルの低いことはしたくない。)

①昼休みにCBでYou Tube の動画やインターネットのサイトを見る。

→ × 必要なこと場合は、先生の指導の下で

②授業のときに勝手な操作をする。

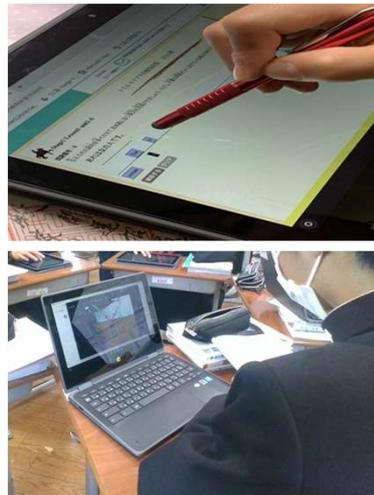
→ × 手遊びと一緒にです。授業はみんなと学ぶ場です。

③卑猥なことばや人の悪口を書き込む。

→ ×× 人として常識。日常とパソコン上では何も変わりません。

使用上の注意 一日の流れ

朝登校時	キャビネットからCBをとります。 ログイン (キャビネットの解錠)
朝自習	AIドリルに取り組みます。
朝の会	連絡事項の確認をします。(classroom > 学級活動または学年集会)
1～6限	学習道具としていつでも使えるように準備しておきます。 ※活用については授業者の指示にしたがいます。勝手な操作は、手遊びと同じとみなされ指導を受けます。
昼休み	原則活用を控えます。 ※学習や生徒会活動など必要に応じて利用する場合があります。 (許可を申し出ます)
帰りの会后	キャビネットにCBを返却し、充電コードを差します。(左側のコードを使用) (キャビネットの施錠)
放課後	※専門委員会や部活動で使用する場合は、担任に許可を申し出ます。 ※自宅に持ち帰る場合も担任に許可を申し出ます。(現在は禁止)
自宅	自宅のWi-Fiに接続し、課題等を済ませます。



使用上の注意 アカウント情報の扱い

○貸与されたCBでのみログインできます。

○発行されたアカウントは卒業まで使用します。IDおよびパスワードを記載した用紙は、大切に 保管し、第三者に見せません。 管理者より指示をするまでパスワードの変更はしません。

○アカウントはその人だけの権利です。他者のアカウントにログインした時点で「不正アクセス」となり法律違反となります。絶対にしてはいけません。ただし附中ICT管理権限者が保守点検・ 動作確認のために生徒アカウントにログインし、操作を行うことがあります。

不正アクセス禁止法(罰則)

第十一条 規定に違反した者は、三年以下の懲役又は百万円以下の罰金に処する。

クラウドサービス・ネットモラル

できること	作成したデータを安全に保存する スライドなどの資料を同時作業する みんなの考えを出し合う 自分の考えとみんなの考えを比較する 先生から課題が届き、それを提出する
情報社会を 生きるもの として	○ICTに関する知識や技術は正しく使う ネット上のトラブルは自己責任が基本 ○他者を誹謗中傷する発言や品位を損なう言動はNG ○ネットモラルについて常にアンテナを高く情報収集に努める

付属品の扱い

CBを円滑に使用するために使用を許可するもの 自己管理／文具と同じ

【各自で準備するもの】

マウス

タッチペン

イヤフォン



【今後家庭で必要になる可能性があるもの】

CBを充電するためのUSBケーブル (typeC)



家庭での使用

① 使用の頻度や時間等については、今後保護者と話し合いを持ち決定します。

(例) 夜 10 時以降は利用しない。 等

② 緊急事態等でリモート授業を行う場合について

○学校から指定された時間に指定された方法でアクセスをします。(各classroom > Meet)

○制服を着用します。(身だしなみは学校と同じルールで)

○接続しない携帯電話・スマホ・タブレット等の不要物を授業中に扱いません。※手元に置かない。

○勝手な発言をしません。※基本的にはミュートにする。発言をする場合のみミュートを解除する。

○なにか不具合があった場合にはホスト(先生)へチャットで知らせます。

○通信障害でミーティングから退出してしまった場合は、接続をし直します。

○背景に注意します。※映り込みに注意する。また必要に応じてイヤフォンやマイクを使用する。

Meet上で背景を変えないようにします。

○授業に集中して取り組めるように環境を整えます。

臨時休校など非常事態の
ときには、自宅に持ち帰り
リモート授業を行います。

最後に...

CBは使うほどに便利な道具です。

これらは、今後ビジネスシーンで活用されるGoogleWorkspaceを基につくられたシステムです。数年後に生きて働く経験を「附中×GIGA」の実践を通して積み重ねましょう。

先生たちも一緒に勉強します。「ともに創る授業」をみんなで実現し附中の取り組みを県内外に発信しましょう。